

2学期が無事終了しました。

保護者の皆様、地域の皆様には、いつもご協力いただき、ありがとうございました。

来年もどうぞよろしく願いいたします。

良いお年をお迎えください。

大切にしたいこと

あいさつ・掃除・思いやり



(終業式式辞より抜粋)

一年で一番長い2学期の終業式を迎えました。皆さんは、四月に今の学級の皆さんと出会い、ふれあい合宿や、修学旅行などを通して仲間づくりをし、2学期には、その学級、学年でまとまって大きな行事に取り組み、団結力を高めて来たことと思います。



今日、皆さん一人一人は、2学期のそれぞれの努力と活動の成果をまとめた通知表をもらいます。成長したところ、がんばっていかなければならないところを自分で確認して、今後取り組んで行きましょう。また、担任の先生からの励ましの言葉をしっかり受け止め、今後の成長につなげて欲しいと思います。



さて、2学期の始業式のあいさつの中で、運動会も文化発表会も、苦手な人も精一杯力を発揮することができるような声掛けをし、チームとして喜び合えるような行事にしましょうと話しましたが、運動会では、特に、組体操、ダンスにおいて、3年生が一生懸命指導をする姿、一・二年生の先輩から素直に習おうとする姿、先生方が見守る姿、保護者や地域の皆さんが応援する姿、すべてが一体となって、雨の中での思い出に残る運動会が出来上がったと思います。

文化発表会も、「発揮～それぞれのカラーを～」をテーマとして、皆さんが、授業で作り上げたステージの発表、学級、学年がそれぞれに一体となって、それぞれのカラーを発揮していました。また、技術家庭や美術、習字など作品の一つ一つに工夫や努力の跡が感じられました。このような大きな行事を通して、皆さんは達成感や連帯感を感じたことがたくさんあったのではないのでしょうか。

また、2学期には、本校が四年間継続して取り組んでいる国際交流の取り組みも、これまでのアンケートから改善を図り、今回は、英語科の授業を中心に行いました。一回目は三年生を対象に、近くの大学から留学生の方15名が、2回目は十名のマレーシアの中・高校生が生徒の家にホームステイをして交流をしました。英語の授業では、どの学級も少人数のグループで、友達から言い方を習いながら外国の方に質問をし、答えてくれる内容をしっかり聞き取ろうとして、一人一人が生き生きと学習していました。あの姿が、まさに、これからの時代に必要な力をつける学習方法のアクティブラーニングだなと思いました。生徒の皆さんが互いに教え合い、学び合い、最後にまとめとして、授業で学んだ内容や感想について手を挙げて発表できた点がいへん良かったと思います。

お便りにも載せましたが、生徒の感想の中には、

○今回は、ほとんど1対1のような感じなので、わかる単語で少しでも話せるようにがんばってすごく楽しかったです。

○英語を勉強することで自分の世界が広がっていくことがよくわかった交流でした。

○三年間取り組んで来て、今回のやり方が一番良かったと思うという感想もたくさんあり、うれしく思いました。

中でも、私が感心したのは、感想の中で、「これまで英語を「勉強」として習っていたのが、こんな風に「つながり」として活用される喜びを知ることができた良い機会だった」と書いていた二年生の生徒がいて、たいへんいいところに気が付いたと思いました。こういうことを感じ、それを言葉として表現できるということも素晴らしいと思いました。そして、これは、まさに、私が大学時代に感じたことなのです。私自身は高校まで英語は大嫌いで、単語を覚えたりするのがめんどろだなと思っていました。しかし、大学に入学すると周りにたくさんの留学生の方がいて、英語を使わなければならない場面がたくさん出てきました。そして、色々と困っている留学生の役に立ちたいと思うのですが、うまく理解することも伝えることもできません。そこで、その時初めて、英語を使えるようになるうと思っ勉強を始めて、今に至っています。

これからの時代には、いろいろな人の考えを聞いて、うまく折り合いをつけながら課題を解決していく力が必要となりますし、今回皆さんが感じたように、英語は知らないよりは知っていた方がはるかに便利です。また、マレーシアの人のように、三か国語（中国語、マレー語、英語）を相手によって、使い分けて生活している人もたくさんいます。そんな中で皆さんは、これから生きていくということをしっかり心にとめておいてほしいと思います。



しかし、英語は苦手という人もいるでしょうが、仲良くすることは気持ちの持ち方であると感じた場面もたくさんありました。例えば、坂口先生は、英語をほとんど話しませんでしたが、「Japanese トムクルーズ」と言われて、マレーシアの生徒がみんな集まって来て、話しかけていました。「何でも受け入れる坂口先生の大きさ」は、マレーシアの子どもたちにも伝わっていたと思います。これから私たちも、こうした大きさをもち、人と人との出会いやつながりを大切にしていきたいと思いました。

さて、部活動についてです。一・二年生の新人戦では、三年生のがんばりを引き継いで、どの部活動もがんばりました。特に、野球部、柔道部、剣道部は市内大会に出場、剣道部はさらに市内大会を勝ち抜き、準優勝。市の代表として県大会に出場しました。女子はベスト4まであと一歩という健闘を見せました。また、バドミントン部は、創部2年目にして、市内4位、あと一歩で県大会というところまでいきました。みんなたいへんよくがんばりました。冬休みには、基礎体力づくりに努めてほしいと思います。



最後に、この冬休み、皆さんはそれぞれの家庭で新しい年を迎えます。

三年生はいよいよ進路の実現に向け、決意を新たに、新しい年を迎えましょう。一、二年生は、三学期になればいろいろなことの中心は一・二年生に移ってきます。その自覚をもって、冬休みを過ごしてほしいものです。先日、若松区の小学生が自転車の事故で亡くなるという悲しいことが起きました。こんな悲しいことが二度と起こらないように、みんなが安全に気を付け、三学期の始業式に、全員元気で、スタートできることを祈っています。

